

【アゼルバイジャン経済トピック 135 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 4 月 25 日

アゼルバイジャン F1 グランプリ

2016 年から実施されている F1 世界選手権レースのアゼルバイジャングランプリが、今年も 4 月 28～30 日、バクーの市街地コースで開催されます。

世界的人気を誇る F1 では主催者がレース誘致のために開催権料を支払っていますが、アゼルバイジャンは、サウジアラビアと並んで、開催国中でも最も高額な開催権料を求められており、一回のレース誘致毎に 5, 500 万ドルを支払っていると報じられています。

一方、アゼルバイジャングランプリ運営主体である Baku City Circuit は、レース誘致により開催権料に比べ十分な経済効果が得られると述べています(2020年1月プレスリリース)。すなわち、2016～19 年のレース誘致による経済効果は総額約 5 億ドルに上り(内訳はレース開催収入、ホテル、ケータリングの売上げ等)、このほか、雇用創出、テレビ放映等によるアゼルバイジャンの知名度向上も、レース誘致のメリットとして説明されています。

近年、アゼルバイジャンは、F1 グランプリに加え、欧州競技大会(ヨーロッパ・オリンピック)(2015 年)、UEFA EURO2020、その他スポーツの国際大会も頻繁に誘致・開催しており、同国の国際的PR、観光産業の活性化に向けた政府の強い意気込みが窺われます。



(以上)